

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2023 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2352
研究開発課題名	視運動性眼振・瞳孔反応を用いたヒトの注意状態推定による障害者のためのコミュニケーション支援
研究代表者	宇都宮大学 工学部 助教 金成 慧

総合評価

ニーズ元省庁の研究開発テーマに合致しており、実現すれば画期的な意思伝達手法となりうる技術であると考えます。挑戦的な取り組みに対して、精力的に活動したことは評価できます。実用化に向けては、基礎的な研究開発要素が残っているため、継続的な検証を行うことを期待します。また、想定ユーザーである障害者に対する効果検証を早急に進め、実現性を確認する必要があります。

以上